

令和 7 年度  
1000N 系車両廃車処理業務委託  
仕様書

令和 7 年 3 月

福岡市交通局運転車両部車両課

## 目 次

### 第 1 章 共通仕様書

1	適用範囲	1
2	履行場所	1
3	履行期間	1
4	排出事業者	1
5	技術者の配備	1
6	関係規程	1
7	負担範囲	1
8	一括再委託の禁止	1
9	提出書類	2
10	安全管理・労災の防止	2
11	施設、設備等の貸与及び光熱水費	2
12	契約不適合責任期間	3
13	疑義の解釈	3

### 第 2 章 特記仕様書

1	業務概要	4
2	対象車両及び搬出時期	4
3	不要部品の処理	4
4	車両主要諸元	4
5	作業場所の賃貸借	4
6	事前準備	4
7	車体等の搬出	5
8	石綿の除去	5
9	産業廃棄物	6
10	フロン類	7
11	品目・重量等	7
12	不良箇所への対応	7
13	その他	7

## 第1編 共通仕様書

### 1 適用範囲

この仕様書は、福岡市交通局（以下「発注者」という。）が発注する1000N系車両廃車処理業務委託（以下「本委託業務」という。）について適用する。

### 2 履行場所

本委託業務の履行場所は、福岡市西区下山門四丁目1番1号（姪浜車両基地）及び第2編5項に記す土地賃貸借契約によって発注者が受注者より借用する作業場とする。

### 3 履行期間

契約締結の翌日から令和8年3月25日までとする。

### 4 排出事業者

廃棄物の処理にあたり、排出事業者は発注者とする。

### 5 技術者の配備

- (1) 本委託業務の受注者は、車両の構造及び機能に精通した技術者を配備し、誠実に責任を持って履行しなければならない。
- (2) 本委託業務の受注者は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律（以下、「廃棄物処理法」という。）による石綿含有産業廃棄物の産業廃棄物収集運搬業として許可を受けたものであること。
- (3) 本委託業務の受注者は、廃棄物処理法による石綿含有産業廃棄物の産業廃棄物収集運搬業の許可証の写しを発注者に提出すること。

### 6 関係規程

本委託業務の実施において、適用を受ける関係法令、条例及び規則等を遵守すること。また、その適用及び運用は、受注者の責任において適切に行うこと。

### 7 負担範囲

- (1) 本業務の実施にあたって発生する費用は、作業場の土地賃貸借契約の賃料を含め、全て受注者の負担とする。
- (2) 本業務の実施にあたって必要となる関係法令等に基づく官公署、その他の関係機関への手続きは受注者が速やかに行うこと。これら手続きを行った時は書類の写しを発注者へ提出すること。福岡労働基準監督署への建築物解体等作業届の届け出は要しないが、発注者から受注者へ同等の書類の提出を求めた際は、速やかに提出すること。
- (3) 本業務の実施にあたって必要な設備、消耗品、資機材、工具及び特殊自動車等は全て受注者が用意すること。
- (4) 本業務の実施にあたって姪浜車両基地の電気、圧縮空気、水道及び行政財産等について、受注者が必要とした場合は、発注者の許可する範囲において無償で 사용할ことができる。ただし、使用する際に付随して必要となる器具等は全て受注者が用意するとともに、節電、節水に努めること。
- (5) 本業務の実施にあたって業務の性質上当然実施しなければならないこと及び軽微な事項で、仕様書に記載のない付随的業務は、受注者の負担において行うこと。

### 8 一括再委託の禁止

- (1) 受注者は本業務の全部を一括して第三者に委託又は請け負わせてはならない。

- (2) 受注者は本業務の一部を委託し又は請け負わせようとする場合は、下請負届を提出し発注者の承諾を得ること。

## 9 提出書類

受注者は、福岡市交通局契約事務規程に関する書類及び下記書類を、速やかに提出すること。また、変更が生じた場合は、変更後の書類を速やかに提出すること。

### (1) 契約締結後に速やかに提出する書類

- ① 業務工程表
- ② 組織図
- ③ 業務遂行責任者通知書
- ④ 組織構成表及び緊急連絡体制一覧表（終日連絡可能な体制表）
- ⑤ 作業員届
- ⑥ 全体処理計画
- ⑦ 石綿に関する作業計画書
- ⑧ その他、発注者が指示する書類等

### (2) 指定する時期に提出する書類

- ① 石綿等使用有無の事前調査記録
- ② 石綿作業主任者選任届（技能講習修了証明書含む）
- ③ 石綿取り扱い作業従事者特別教育修了証（石綿含有材を取り扱う作業にかかわる従事者のみ）
- ④ 産業廃棄物処分業許可証の写し
- ⑤ 産業廃棄物収集運搬業許可証の写し
- ⑥ 輸送計画書（緊急連絡先、運行計画表及び輸送経路等を含む）
- ⑦ 特殊車両通行許可証の写し（必要な場合）
- ⑧ 制限外積載許可申請書の写し（必要な場合）
- ⑨ 制限外牽引許可申請書の写し（必要な場合）
- ⑩ フロン回収行程管理表、証明書
- ⑪ その他、発注者が指示する書類等

### (3) 業務完了後に速やかに提出する書類

- ① 完了届
- ② 作業写真
- ③ 石綿環境測定結果
- ④ 産業廃棄物管理票（マニフェスト）
- ⑤ その他、発注者が指示する書類等

## 10 安全管理・労災の防止

受注者は、福岡市高速鉄道車両安全作業要領を遵守し、従事者の安全管理及び労働災害の防止に努めるとともに、必要な措置を講じなければならない。

## 11 施設、設備等の貸与及び光熱水費

受注者は本委託業務で必要な施設、設備等無償で使用する事ができる。また、これに要する光熱水費は無償とする。なお、施設の管理に関して、整理整頓、火災の防止等に努めること。ただし、本委託業務で必要な機械器具、工具、消耗品等については、受注者の負担とする。

12 契約不適合責任期間

本委託完了後より、1年間とする。但し、期間後であっても、作業の不良等による不具合については、受注者の責任において必要な措置を講じること。

13 疑義の解釈

受注者は、契約前に本仕様書について精査し、疑義を生じた場合には入札前に発注者に申し出るものとし、不明な事項を残さないこと。入札後に生じた疑義については、発注者と十分協議の上でその指示に従うこと。

## 第2編 特記仕様書

### 1 業務概要

- (1) 本委託業務は、福岡市交通局が所有する1000N系車両の廃車処理業務を委託するものである。
- (2) 本委託業務は福岡市交通局にて使用していた鉄道車両及び不要部品を、受注者の解体場に運搬し、廃棄物が最小限となるよう減量を図りながら分別解体して再資源化すること。また、再資源化できない廃棄物は法令に基づき適切に処理するものである。
- (3) 車両の客室内車両の客室内及び運転室内（以下、「車内」という。）に使用されている、石綿をその重量の0.1パーセントを超えて含有する断熱材（以下、「含有断熱材」という。）の除去（以下、「含有断熱材除去」という。）及び車両の装置等に使用されている、石綿をその重量の0.1パーセントを超えて含有する車両部品（以下、「含有部品」という。）を撤去（以下、「含有部品撤去」という。）し、適切に処理すること。
- (4) 含有断熱材及び含有部品（以下、石綿含有材という。）の処理が終了した車両は、全て有価物として受注者が引取り（以下、「引取り」という。）をする。

### 2 対象車両及び搬出時期（予定）

1000N系車両 4編成（24両）

- ・ No.01編成 6両 令和7年8～9月頃
- ・ No.02編成 6両 令和7年7～8月頃
- ・ No.03編成 6両 令和7年12～1月頃
- ・ No.18編成 6両 令和7年6～7月頃

### 3 不要部品の処理

「別紙6 不要部品一覧」に記載する車両部品を姪浜車両基地から搬出し、分別解体を行うこと。搬出時期の詳細は発注者と協議を行い決定すること。

### 4 車両主要諸元

「別紙3 車両主要諸元」参照

### 5 作業場所の賃貸借

受注者の解体作業場について発注者と受注者の間で土地賃貸借契約を締結し、本業務の履行期間中は発注者が借り受けることとする。

### 6 事前準備

#### (1) 全体処理計画の策定

受注者は産業廃棄物等の処理経路を明確にするため、以下の事項が示された全体処理計画を定めること。

- ① 姪浜車両基地における作業内容及び工程
- ② 車両の搬出計画及び工程
- ③ 受注者の作業場における作業内容及び工程
- ④ 産業廃棄物の一連の処理工程
- ⑤ 収集運搬、中間処理及び最終処分を行う業者とその許可の内容
- ⑥ フロン類及び代替フロン類の処理工程

#### (2) 事前調査と揭示

- ① 受注者は解体前に「別紙4 石綿含有状況一覧」及び「別紙5 石綿使用部位」を参考に、石綿の使用の有無を目視等により調査すること。また作業を行う範囲で不明な部分がある場合は自ら調査すること。

- ② 受注者は調査結果を記録し、作業場の見えやすい箇所に掲示すること。
- (3) 特別の教育と作業主任者の選任
  - ① 受注者は作業に従事する者に、石綿の使用状況・有害性等、特別の教育を実施すること。
  - ② 受注者は石綿作業主任者技能講習を修了した者から石綿作業主任者を選任し、発注者に選任届及び技能講習修了証明書を提出すること。
- (4) 石綿に関する作業計画の策定
  - 受注者は石綿等による労働者の健康障害を予防するため、以下の事項が示された作業計画を定め関係者に周知徹底すること。
  - ① 作業の方法及び順序
  - ② 石綿等の粉じんの発散を防止し、または抑制する方法
  - ③ 作業を行う労働者への石綿等の粉じんのばく露を防止する方法

## 7 車体等の搬出

- (1) 搬出作業場所
  - ① 搬出作業場所は、姪浜車両基地 工場線(別紙1参照)とする。
  - ② 搬出作業は、必要最小限のうちにとどめるものとし、車両の分割作業等を行わないこと。また、姪浜車両基地から発注者が借用する作業場までは、ポールトレーラ等により車両を夜間に輸送すること。なお、甲種輸送にて廃棄車両を輸送する際は、この限りではない。
- (2) 廃棄車両の入換等
  - 姪浜車両基地内での廃棄車両の入換は発注者にて行うものとし、車両の分離及び分離後の移動は受注者にて行うこと。
- (3) クレーン操作等
  - 受注者は、工場棟に設置されている15tクレーン2台と門型フックを使用することができる。その際、クレーン操作及び玉掛けの資格を有する作業者が行うこと。また、クレーンを使用する際は、法令に基づく使用前点検を実施すること。
- (4) 搬出方法
  - ① 車体は1両単位で運搬すること。床下機器、屋根上機器の切断・取り外しのみ可能とし、切断・取り外しが必要な場合は受注者にて行うこと。詳細は発注者と協議を行い決定すること。
  - ② 車体・台車等は、運搬中に傾いたり部品が脱落したりしないように固定すること。
  - ③ 特殊車両通行許可証等を許可に係る車両に携行すること。
  - ④ 通行時間、通行期間、通行経路は関係官庁に許可をとった上で通行すること。
  - ⑤ 誘導車の配置等が通行条件として義務付けられている場合はその措置をとること。
  - ⑥ 出発前に道路状況を道路管理者または(財)日本道路交通情報センターに確認すること。
  - ⑦ 事故の際には直ちに応急措置をとり、道路管理者及び発注者に報告すること。
  - ⑧ 安全第一で、細心の注意を払い、事故防止に万全を期すること。
  - ⑨ 搬送は、必要に応じて発注者の職員が同行できるものとする。

## 8 石綿の除去

- (1) 除去作業
  - ① 石綿を含有する部品等は原則手ばらしにより破碎せず除去すること。切断等やむを得ない場合は、プラスチックシート等を使用して隔離措置等を行い、該当部分を湿潤化したうえで作業すること。ただし以下の工法を用いる場合は隔離措置等と同等の飛散防止措置とする。

- ア 集じん装置併用手工具ケレン工法
- イ 集じん装置付き高圧水洗工法
- ウ 集じん装置付き超高圧水洗工法
- エ 超音波ケレン工法（HEPA フィルター付き掃除機併用）
- オ 剥離剤併用手工具ケレン工法
- カ 剥離剤併用高圧水洗工法
- キ 剥離剤併用超高圧水洗工法
- ク 剥離剤併用超音波ケレン工法
- ケ 集じん装置付きディスクグラインダーケレン工法
- ② 車内の除去作業において、周囲への飛散を防止するため開口部をプラスチックシート等で養生すること。
- ③ 床下の除去作業において、周囲への飛散を防止するため床下周囲をプラスチックシート等で養生すること。また床面への飛沫による汚れを防止するためプラスチックシートなどで養生すること。
- ④ 作業者は、電動ファン付き呼吸用保護具又は取替え式防じんマスク等作業に応じた適切なマスクを着用し、周辺作業者にも取替式防じんマスク又は使い捨て防じんマスク等を着用すること。
- ⑤ 作業場所には関係者以外が立ち入ることを禁止し、以下の内容を見やすい場所に掲示すること。
  - ア 石綿等を取扱う作業場であること
  - イ 石綿等の人体に及ぼす作用
  - ウ 石綿等の取扱い上の注意事項
  - エ 使用すべき保護具
  - オ 石綿作業主任者の氏名・職務

(2) その他

- ① その他、作業の記録及び環境測定、保管、健康診断など石綿障害予防規則に基づく措置をとること。また廃棄物の取扱いに当たっては、廃棄物の処理及び清掃に関する法律等関係法令に基づくこと。
- ② 環境測定の評価を行った結果、基準値以上の石綿が検出された場合は、作業場所の清掃を含めた必要な改善措置をとること。

## 9 産業廃棄物

(1) 石綿

除去した石綿を含有する部品等は、法令に従い廃石綿等もしくは石綿含有廃棄物に分類して適切に扱うこと。ただし車体のアンダーシールについては非飛散性の石綿であるが、除去したものは廃石綿と同等に扱うこと。

(2) 蛍光灯及びバッテリー

蛍光灯及びバッテリーは搬出前に受注者が取り外し、姪浜車両基地内の蛍光灯及びバッテリー置場に保管すること。処理については発注者が別途行うものとする。

(3) その他

- ① 可能な限り素材ごとに分別し再資源化を行い廃棄物の減量に努めること。再資源化できないものについては法令に則り適切に処理すること。
- ② 空気圧縮機、台車駆動装置、台車軸受及び冷房装置に含まれる油脂類は適切に処理すること。

## 10 フロン類

冷房装置に冷媒として封入されているフロン類は、フロン回収・破壊法に則り適切に回収し処理すること。回収行程管理票は受注者にて用意し発注者に提出すること。管理票は発注者が所有者等必要事項を記入し受注者に渡すものとする。フロン類の引取りが完了したら速やかに引取証明書を提出すること。冷媒の種類及び封入量は「別紙3 車両主要緒元」を参照すること。

## 11 品目・重量等

### (1) 車両

#### ① No.01編成（3レベル車）

（1501車、1001車、1101車、1002車、1102車、1502車）6両

#### ② No.02編成（3レベル車）

（1503車、1003車、1103車、1004車、1104車、1504車）6両

#### ③ No.03編成（3レベル車）

（1505車、1005車、1105車、1006車、1106車、1506車）6両

#### ④ No.18編成（2レベル車）

（1535車、1035車、1135車、1036車、1136車、1536車）6両

### (2) 車両諸元

1000N系車両諸元表は別紙3のとおり。

### (3) 取外し部品

予備品確保のため、発注者にて廃車対象車両より部品を一部取り外すことがある。  
詳細は契約後の協議によるものとする。

### (4) 重量（2レベル車）

車号	15●車	10●車	11●車
重量	34.0t	36.7t	40.5t
総重量	222.6t		

#### 重量（3レベル車）

車号	15●車	10●車	11●車
重量	34.0t	37.5t	40.5t
総重量	224.0t		

① 上表中、重量及び総重量欄の数値は設計重量を表す。

② 上表中の重量は参考値であり、重量を保証するものではない。

### (5) 車両寸法

「別紙3 車両主要緒元」のとおり。

## 12 不良箇所への対応

受注者は、本委託業務の履行中に不良箇所等を発見した場合は、直ちに監督員に報告し、協議のうえ、必要な処置を行うこと。

## 13 その他

(1) 姪浜車両基地内における作業時間は、平日の午前9時から午後5時までとする。なお、受注者の作業場までの輸送は夜間に実施するものとする。

(2) 必要となるマニフェスト等の帳票類は受注者が用意すること。

(3) 地域住民より苦情等が寄せられた場合には作業を中断し、誠意をもって必要となる対策を講じること。